

今治型英語教育

- ・英語で伝える力の向上
- ・「英語で話せた」という喜び
- ・自己肯定感の向上

【目指す子どもの姿】

- ・英語を「教科」としてでなく、「コミュニケーションの手段」として使いこなし、国際理解を深める。
- ・地域や国の未来を考え、国際社会で活躍できる。
- ・幼児期から英語に触れることで、中学校卒業時には日常的な英会話ができる。

・英語を使って、日常的な話題について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。

・英語を使って、身近なことについて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。

・英語に慣れ、簡単な表現でやり取りをする。

・英語の音に慣れ、楽しむ。

小学校1・2年

小学校3・4年

小学校5・6年

中学校

高校

切れ目のない学び

「聞く・話す(やり取り・発表)・読む・書く」の4技能を段階的に育成



ALTを40名に増員!
日常的に生きた英語に触れられるようになりました。



幼児教育

英語への親しみを育成



教職員研修の充実

- ・英語教育改革推進チーム設置
- ・小中連携部会設置
- ・ALT研修会の実施
- ・英語教育アドバイザー 細田 眞由美氏(前さいたま市教育長)による講演と助言
- ・ALTアドバイザーによる小学校訪問

英語教育充実のための取組

- ・スコア型英語技能テスト(GTEC)の実施
- ・英語検定3級以上の検定料の補助
(年1回/人)
- ・英検対策用オンライン講座の活用
- ・イングリッシュデイキャンプ(小学生対象)、
イングリッシュステイキャンプ(中学生対象)の実施